

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	運営会議		
構成員 (◎:会長)	所 属	所 属	
	あ げ お 福 祉 会	第 2 ぷ ち と ま と	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー み の り	い ず み の の 家	
	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ げ お	上 尾 市 障 害 福 祉 課	
	プ ラ ス ハ ー ト	障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー あ ら ぐ さ (事務局) 基幹相談支援センター	
目 的	○全体会運営の協議 ○各部会の活動内容調整 ○障害福祉計画に関する協議・差別解消地域支援協議会・日中サービス支援型グループホームとの連携・研修動画の配信 等を検討・協議していく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 5. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議の進め方について ・各部会からの報告・計画について 	桶川市社会福祉協議会
第 2 回	R5. 8. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・計画相談の事業運営について ・差別解消地域支援協議会の内容確認 ・障害者計画・障害福祉計画の内容確認 ・日中支援型グループホームの評価方法について 	桶川市社会福祉協議会
第 3 回	R5. 11. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校卒業生の内定通知について ・人材育成等研修の在り方について ・差別解消協議会の昨年度アンケートへの意見収集について ・日中支援型グループホームの評価実施に向けて 	桶川市社会福祉協議会
第 4 回	R5. 3. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・差別解消協議会の昨年度アンケートへの意見収集について ・障害者計画・障害福祉計画の内容確認 ・日中支援型グループホームの評価実施の報告 ・次年度の在り方について 	桶川市社会福祉協議会
活動報告まとめ			
<p>○各部会が活発に活動するようになってきたので、運営会議の回数を3ヶ月に1度とした。</p> <p>○主に各部会からの活動報告を行い、地域課題について検討するよう努めた。</p> <p>○日中サービス支援型グループホームへ評価のための訪問を行った。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	支援センター部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダ 支部長)	所属	所属	
		障害者生活支援センターみのり	上尾市障害福祉課
		障害者生活支援センター杜の家	桶川市障害福祉課
		障害者生活支援センターあらぐさ	伊奈町社会福祉課
		障害者生活支援センターあげお	
	相談支援センターわおん	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○新規相談実績報告及び事例検討会を通して、相談業務における「情報発信と共有の場」、「困難事例の検討の場」、「援助に関する学びの場」として地域課題の整理や解決策を考える機会とする。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 4. 12	1 今年度の部会の活動について 2 前年度の新規相談のまとめ 3 事例検討 (事例提供：みのり)	上尾市文化センター
第 2 回	R5. 5. 10	1 新規相談受付報告 (4月分) 2 事例検討 (事例提供：あげお)	上尾市文化センター
第 3 回	R5. 6. 14	1 新規相談受付報告 (5月分) 2 事例検討 (事例提供：上尾市)	桶川市地域活動福祉センター
第 4 回	R5. 8. 9	1 新規相談実績報告 (6・7月分) 2 事例検討 (事例提供：杜の家)	桶川市地域活動福祉センター
第 5 回	R5. 11. 8	1 新規相談実績報告 (8～10月分) 2 事例検討 (事例提供：あらぐさ)	桶川市地域活動福祉センター
第 6 回	R5. 12. 13	1 新規相談実績報告 (11月分) 2 事例検討 (事例提供：わおん)	桶川市地域活動福祉センター
第 7 回	R6. 2. 14	1 新規相談実績報告 (12・1月分) 2 事例検討 (事例提供：桶川市)	桶川市地域活動福祉センター
第 8 回	R6. 3. 13	1 新規相談実勢報告 (2月分) 2 事例検討 (事例提供：伊奈町) 3 今年度の振り返りと来年度について	桶川市地域活動福祉センター
勉強会	R5. 9. 13	成年後見制度について深めよう ※計画相談部会と共催	桶川市地域活動福祉センター
情報交換会	R6. 2. 29	委託・計画相談支援事業所交流会 ※計画相談部会企画	桶川市地域活動福祉センター
活動報告まとめ			
○昨年度に引き続き、圏域の計画相談支援事業所と委託相談支援事業所との繋がりをより強めていくことを目的として情報交換会に参加し、圏域における相談支援体制についての再確認とそれぞれが抱えていた連携の在り方について深めることができた。 ○部会員からのアンケートを実施し、成年後見制度の理解と2市1町の相談窓口担当者との連携を深めるため、成年後見制度の利用についての勉強会を実施した。 ○各支援センター及び行政が抱えている困難ケースについて事例検討を行い、そこから考えられる課題を抽出してシートにまとめ、その課題について部会として取り組んでいくべき内容について整理・共有を図った。また、困難事例についての意見交換を行うことにより、情報共有や援助に関する学びの場とすることができた。 ○オブザーバー参加：木戸先生 (日本社会事業大学大学院教授) 11月、12月、3月参加			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	計画相談部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
		特定相談支援事業所いずみのの家 け あ ビ ジ ョ ン 桶 川	
		相談支援事業所あしすと 桶 川 市 障 害 福 祉 課	
		相談支援センターわおん 障害者生活支援センターあらぐさ (事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○計画相談に関する課題抽出、整理を行う ○事業所意見交換会や研修会を開催し、交流を深め質の向上を図る		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 5. 16	・ R5 年度活動計画案の検討	基幹相談支援センター
	R5. 6. 16	・ 上尾市成年後見センター丸山氏との打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 2 回	R5. 7. 3	・ 6 月 16 日の内容報告、研修会の流れについて	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R5. 8. 3	・ 支援センター部会と合同での打ち合わせ	桶川市地域福祉活動センター
第 1 回連絡会	R5. 9. 13	「計画相談部会・支援センター部会共催 研修会 ～成年後見制度について深める～」	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R5. 10. 16	・ 9 月 13 日研修会の振り返り ・ 今後の活動内容について ・ ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R5. 11. 20	・ 1 月 23 日の内容確認 ・ ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回連絡会	R6. 1. 23	「計画相談情報交換会（事業内容等について、委託との連携 について）」（18 事業所参加）	桶川市地域福祉活動センター
第 6 回	R6. 2. 5	・ 1 月 23 日情報交換会の振り返り ・ 2 月 29 日の内容確認 ・ ランチミーティング	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回連絡会	R6. 2. 29	「委託・計画相談支援事業所 交流会（相談支援における連 携について）」（計画 18 事業所、委託 5 事業所参加）	上尾市文化センター
第 7 回	R6. 3. 13	・ 2 月 29 日の振り返り ・ 今年度の振り返り、及び R6 年度活動内容について	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
<p>○今年度は支援センターと合同での研修会、交流会を実施。計画相談事業所のみでの連絡会は 1 回実施した。グループワークを増やしてより多くの人と話す機会を設けられるようにした。また、昨年度に引き続き、支援センターとの連携について重点を置いて実施した。</p> <p>○連絡会以外で気軽に集まり話が出来る機会を作れるよう、「ランチミーティング」を実施。実施場所等の検討は必要であるが、工夫をしながら今後も継続していけるようにしていきたい。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	第 2 ぷ ち と ま と	K a u r i	
	ピ ュ ア ス マ イ ル	ア ジ ー ル	
目的	○障害福祉サービス種別ごとに支部を設定し、支部会にてそれぞれの種別における事業所間連携の強化や質の向上を目指し、地域課題にも取り組んでいく。 ○各支部の活動報告、課題共有を部会でを行い、協議をしていく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 7. 21	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹支援センター
第 2 回	R5. 12. 1	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹支援センター
第 3 回	R6. 3. 7	・各支部会の取り組み、地域課題の共有・協議	基幹支援センター
活動報告まとめ			
○各支部会の支部長が参加し、支部の報告と協議を実施した。詳細は各支部会活動報告書参照。 ・就労系支部・・・今年度は3回の支部会を開催。外部講師を招いたBCP研修会等実施。 コア会議の実施回数は8回。 ・生活介護支部・・・支部会は3回実施。生活介護事業所現場職員交流会15事業所が参加した。 ・グループホーム支部・・・年4回の支部会とコア会議5回を実施した。 ・放課後デイサービス支部会・・・6回開催。5回目は、第1回情報交換会として実施した。 ○上尾市内の特別支援学校卒業生の事業所受入方法のルールについて協議し、次年度から撤廃。 ○各支部会の充実と会議参加負担増もあり、次年度のサービス管理責任者部会は年2回実施。 9月26日10時と3月6日10時に開催予定。他、協議事項が発生した場合は、臨時開催する。			

令和5年度活動報告書

組織名	サービス管理責任者部会：就労支部		
コアメンバー (◎：支部長)	所属	所属	
	K a u r i	障害者就業・生活支援センターGSA	
	グ ロ ー プ	グリーン ド ア (事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○就労移行・就労継続 A. B 型事業所の支援の質の向上と連携強化のための取り組みを実施する。		
回	開催日	活動内容	場所
第1回	R5. 7. 6	<u>連絡会</u> サビ菅・現場職員を主対象としテーマを軸に情報交換を実施。テーマ「自分の事業所の強みや大切にしていることを出し合おう」	桶川市地域福祉活動センター
第2回	R5. 11. 22	<u>研修会</u> 「業務継続計画 (BCP) に関する研修会」外部講師を招いての講義、管内事業所における体験発表を実施。	桶川市地域福祉活動センター
第3回	R6. 2. 6	<u>見学会</u> 就労継続支援 A 型、B 型、移行支援を実施している3つ事業所をオンラインで結び見学を実施。	オンライン
コアメンバー会議（支部会前後の打合せ）			
①	R5. 4. 24	今年度の活動計画の作成	グリーン ド ア
②	R5. 6. 27	「第1回支部会」開催に向けた打合せ	基幹相談支援センター
③	R5. 7. 6	「第1回支部会」の振り返りと、「第2回支部会」の検討	基幹相談支援センター
④	R5. 9. 12	「第2回支部会」開催に向けた打合せ	グリーン ド ア
⑤	R5. 9. 27	埼玉県社会福祉協議会 経営相談 BCP 策定支援専門員へ自立協の主旨説明と研修講師依頼のため訪問。	埼玉県社協
⑥	R5. 11. 29	「第2回支部会」の振り返りと、「第3回支部会」の検討	基幹相談支援センター
⑦	R5. 12. 21	「第3回支部会」開催に向けた打合せ	基幹相談支援センター
⑧	R6. 1. 22	「第3回支部会」開催に向けた打合せ	オンライン
⑨	R6. 3. 2	「第3回支部会」の振り返りと、次年度に向けて検討	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
<p>○関係機関との連携強化を目的に、例年通り連絡会を実施した。特に現場職員の方にはテーマを通じて話し合うことで、他事業所の状況も把握でき、知識の向上等につながったと思われる。</p> <p>○R6年度から義務化されるBCPに関して、策定の一助となるよう埼玉県社会福祉協議会BCP策定支援専門員を招き研修会を実施した。また新型コロナウイルス感染症の集団感染が起こった地域の事業所の事例発表を行った。</p> <p>○代表的な通所就労系サービス3つの事業所に依頼し、オンライン見学会を実施した。当初は現地での見学とオンラインを並行して実施する予定であったが、積雪により、オンラインのみでの開催となったがスムーズに実施できた。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：生活介護支部		
構成員 (◎：支部長)	所属	所属	
	ピ ュ ア ・ ス マ イ ル	ア ジ ー ル	
		(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○主に生活介護事業所のサービス管理責任者等における地域連携を深めていくことで、事業所の運営や支援の質の向上、地域課題の整理や解決に向けた協働に繋がって行くことを目指し、障害のある方への暮らしの充実を目指す。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 7. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から引き続きの案件について検討 ・生活介護事業所の集まりの内容について 	福川市地域福祉活動センター
第 2 回	R6. 2. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員「交流会」 	上尾市コミュニティーセンター
活動報告まとめ			
<p>○第 1 回では、昨年度から引き続きであった検討案件（職員の交換現場実習、事業所間における利用者のマッチング目的等を踏まえた連絡・情報共有について）を話し合った。また、例年実施している生活介護事業所同士で集りについての内容を検討し、本年度はサビ管ではなく現場職員で集まるという形で決定。11 月に実施を予定したが、コロナ感染症拡大等により延期となった。</p> <p>○第 2 回の現場職員「交流会」では、15 事業所 19 名の現場職員が参加をされ、お互いの支援などについて活発に意見交換ができた。アンケートでは、継続実施の声が多かった。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：グループホーム支部		
コアメンバー (◎：支部長)	所属	所属	
	す み れ ホ ー ム	み の り の 家	
	お に ぎ り	ビ オ ・ ナ チ ュ ー ル 原 市 (事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○新規参入のグループホームとの連携の強化や各事業所で抱えている課題をグループ討議し情報交換する事で質の向上を目指し、地域課題にも取り組んでいく		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 5. 24	・ R5 年度の進め方：コアメンバーの募集について。 ・ R5 年度の年間予定。グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 2 回	R5. 8. 30	・ コアメンバーの紹介。グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R5. 11. 29	・ 実地指導の情報共有。グループ討議、情報交換。	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R6. 2. 21	・ 報酬改定などの情報共有。グループ討議、情報交換。	上尾市青少年センター
コアメンバー会議（支部会前後の打合せ）			
①	R5. 4. 25	・ 今年度の活動内容について検討	基幹相談支援センター
②	R5. 7. 19	「第 1 回支部会」の振り返りと今後の支部会運営について	基幹相談支援センター
③	R5. 9. 26	「第 2 回支部会」の振り返りと「第 3 回支部会」に向けて	基幹相談支援センター
④	R5. 12. 5	「第 3 回支部会」の振り返りと「第 4 回支部会」に向けて	基幹相談支援センター
⑤	R6. 2. 19	「第 4 回支部会」に向けてと、来年度の支部会活動について	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
<p>○R5 年度は計画通り 4 回の支部会を開催出来ました。</p> <p>○グループホーム情報シートの運用を始め、参画事業所を増やすなど課題はありますが、各機関との連携も少しずつ取れる様になりました。</p> <p>○グループ討議を中心に活動し、各事業所の問題に全体で取り組み、サービスの質の向上につながりました。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	サービス管理責任者部会：放課後等デイサービス支部		
構成員 (◎：支部長)	所属	所属	
	ア ジ ー ル	ぐ っ と ・ じ ょ ぶ	
	や ま と	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○圏域の放課後等デイサービス事業所と学校との連携構築をはかり、支援向上の一助となるよう、交流会の開催を行う。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 6. 9	・ R5 年度活動計画案の検討 ・ 情報交換会の開催に向けての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 2 回	R5. 7. 5	・ R5 年度活動計画の見直し ・ 情報交換会の開催に向けての打ち合わせ	基幹相談支援センター
第 3 回	R5. 10. 4	・ 情報交換会の開催に向けての打ち合わせ ・ 事前アンケート内容の検討 (事業所状況や意見の把握)	基幹相談支援センター
第 4 回	R5. 11. 7	・ 情報交換会の講師との打ち合わせ (上尾特別支援学校・かしの木特別支援学校コーディネーター)	上尾かしの木特別支援学校
第 5 回	R5. 11. 27	・ 第 1 回 情報交換会「福祉・教育の連携について考える」	上尾かしの木特別支援学校
第 6 回	R5. 12. 22	・ 情報交換会 振り返り ・ R6 年度に向けての打ち合わせ	基幹相談支援センター
活動報告まとめ			
<p>○昨年度より引き継いだ、圏域内の放課後デイサービス事業所の集まり (情報交換会) の開催に向けての支部活動を行った。</p> <p>○第 1 回 情報交換会として上尾特別支援学校・かしの木特別支援学校のコーディネーターの教諭を招き、「福祉・教育の連携について」をテーマに学校との連携についての講演や事前アンケートを基にした質疑応答、放課後等デイサービス間の連携を深めるため管理者・児童発達支援管理責任者を中心に事業所での取り組みや連携を深めていくための情報共有を行った。 (参加者：40名、放デイ23事業所、学校4ヶ所、相談事業所4ヶ所、行政1ヶ所)</p> <p>○次年度も連絡会は継続し、支援員が参加できる内容も企画していきたい。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	こども部会		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー)	所属	所属	
	障害者生活支援センターあげお	多機能型事業所アッコルト	
	伊奈町子育て支援センター	上尾市東保健センター	
	いずみ園	上尾市障害福祉課	
	桶川市子ども発達相談支援センター	埼玉県発達障害総合支援センター	
	県央地域療育センター	上尾市発達支援相談センター	
		(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○就学前時期に絞り「定例部会」にて地域の現状把握と課題整理実施。 昨年度実施した教育委員会からの情報を勉強会にてフィードバックし、福祉と教育の連携について考えていく。 ○勉強会を開催し「知り合う。つながる。」顔の見える連携を強化していく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 6. 28	・ R5 年度活動計画案の検討 ・ 勉強会の日程、内容の検討	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 2 回	R5. 8. 24	・ 勉強会及びグループワークの内容について検討	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 3 回	R5. 9. 22	・ 昨年度実施した教育委員会のフィードバック方法、実践報告内容の検討、勉強会の最終打合せ	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 4 回	R5. 11. 21	「各市町の就学時健診・就学相談・教育と福祉の連携について」勉強会の実施 (児発・学校・相談・行政等 37 機関・50 名参加)	上尾かしの木特別支援学校
第 5 回	R6. 1. 11	・ 勉強会の振り返り、来年度の活動内容について	埼玉県社会福祉事業団あげお
第 6 回	R6. 3. 14	・ 来年度の活動内容などについて	埼玉県社会福祉事業団あげお
活動報告まとめ			
○昨年、一昨年に続き、未就学に絞って活動を行った。 ○昨年度実施した 2 市 1 町の教育委員会の方を招いて伺った各関係機関の機能や就学時健診、就学時相談についての内容を勉強会にて報告した。また実際の 2 市 1 町の就学に関する取り組みの実践報告を行った。 ○児童発達支援事業所、学校、相談支援事業所、行政等が参加し情報交換、意見交換をすることで連携、理解が深まる一助になったと思われる。 ○来年度も未就学に絞り、「子どもを中心とした支援の質の確保をしていくために、地域の情報等を充実させ連携を深めていく」を目的として活動を行っていく。 ○次年度については、交流を含めた勉強会を、今年度同様な 1 回実施していくこととしたい。			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討部会		
構成員 (◎：部会長 ○：研究チーム リーダー)	所属	所属	
	上尾市障害福祉課	桶川市障害福祉課	
	伊奈町社会福祉課	上尾市健康増進課	
	武蔵野病院	埼玉県立精神保健福祉センター	
	上尾の森診療所	埼玉県立精神医療センター	
	鴻巣保健所	済生会鴻巣病院	
	相談支援センターわおん	障害者生活支援センター杜の家	
		(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○精神障害者地域包括ケアシステムづくりにむけた検討を行う ○実践から多機関の役割、機能を互いに理解共有し、連携の在り方を検討する ○地域精神保健福祉研修プログラムに関する研究チームによる研修を実施する		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R5. 5. 12	・上尾市基幹相談支援センターの役割と機能の紹介	上尾市文化センター
第 2 回	R5. 7. 14	・上尾の森診療所の役割と機能の紹介 ・埼玉県立精神医療センターの役割と機能の紹介	桶川市地域福祉活動センター
第 3 回	R5. 11. 10	・済生会鴻巣病院の役割と機能の紹介 ・武蔵野病院の役割と機能の紹介	桶川市地域福祉活動センター
第 4 回	R6. 1. 12	・伊奈町地域包括支援センターの役割と機能の紹介	桶川市地域福祉活動センター
第 5 回	R6. 3. 8	・上尾市子ども家庭総合支援センターの役割と機能の紹介	桶川市地域福祉活動センター
地域精神保健福祉研修プログラムに関する研究チーム			
全 7 回	4 月・6 月・ 8 月・9 月・ 10 月・2 月	10 月の活動では、18 日に当事者、家族、医師、その他関係機関職員等の参加による「地域精神保健福祉研修会」を開催し、48 名が出席した	上尾市文化センター
活動報告まとめ			
○精神障害者地域包括ケアシステムづくりにむけた検討の場として、隔月のチーム会議を含め全 12 回開催した。 ○今年度も昨年度に続き、各機関の役割機能のプレゼンテーションと事例提供を行い、連携の在り方を検討した。 ○地域精神保健福祉研修プログラムに関する研究チームは上尾の森診療所の安間 Dr をチーム責任者とし、当事者、家族も参画した研修会を 10 月に実施した。			

令和5年度活動報告書

組織名	権利擁護プロジェクト		
構成員 (◎：部会長 リーダー)	所属		所属
	あ げ お 福 祉 会	か し の 木 園	
	伊 奈 町 社 会 福 祉 課	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	<p>○2市1町圏域の障害福祉サービス事業所における虐待防止・権利擁護の意味、重要性を明確にし、充実する地域の仕組みや体制づくりについて、研修の開催等を通じて検討・調査し、所見や考察も含め報告・提案を行う。</p>		
回	開催日	活動内容	場所
第1回	R5.5.18	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度活動計画案の検討 ・構成員増員について ・アンケート実施の検討 	あげお福祉会社の家
第2回	R5.6.30	<ul style="list-style-type: none"> ・研修企画の検討 ・次年度以降の取組の検討 	あげお福祉会社の家
第3回	R5.8.18	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート分析 ・次年度以降の取組の検討 	あげお福祉会社の家
第4回	R5.10.20	<ul style="list-style-type: none"> ・差別解消地域支援協議会アンケートの意見交換 ・次年度以降の取組提案の検討 	あげお福祉会社の家
第5回	R5.12.15	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果まとめ ・提案(骨子案)の検討 	あげお福祉会社の家
第6回	R6.2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・提案(骨子案)の検討とまとめ 	あげお福祉会社の家
活動報告まとめ			
<p>○プロジェクト発足後3年目を迎えた今年度は、昨年度作成したロードマップに基づき、研修ニーズの引継ぎや研修実施方法の補助を中心に、各委員会へ段階的に移行する方法を模索した。しかしながら、研修企画としてまとめた案は、テーマや頻度、実施方法などにマンパワーの課題があり、解決する手段が見出せなかった。そのため、研修実施以外の取り組みを検討することとなった。結果は、権利擁護プロジェクトの提案(骨子案)としてまとめ、運営会議で提案する。</p> <p>○6月に事業所対象のアンケートを実施した。事業所の状況や課題、研修ニーズ等の把握に意義ある取り組みだった。今後の継続を、上記提案にまとめた。</p> <p>○権利擁護プロジェクトは、その目的を達成したため、今年度で解散としたい。</p>			

令和 5 年 度 活 動 報 告 書

組織名	医療的ケア児等支援プロジェクト		
構成員 (◎：部会長 Pリーダー 支部長)	所属	所属	
		障害者生活支援センターあらぐさ	県立川島ひばりが丘特別支援学校
		ピュアスマイル	上尾市障害福祉課
		桶川市子ども発達相談支援センターセンター	桶川市子ども未来課
	伊奈町社会福祉課	(事務局) 基幹相談支援センター	
目的	○医療的ケア児等に係る関係機関と連携し、上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会で取り組むべき課題を精査していく。		
回	開催日	活動内容	場所
第 1 回	R. 5. 6. 23	・R4年度の部会で抽出した課題と市町の庁内会議及び協議会での課題を共有。この地域では、まずは啓発を優先として、ガイドマップの作製ではなく、研修会の開催を実施する事となる。	上尾市文化センター
第 2 回	R. 5. 9. 19	・研修会の開催について（内容・対象等の検討） ・市町の庁内会議及び協議会の共有	桶川市地域活動福祉センター
第 3 回	R. 5. 11. 16	・研修会の開催について（内容検討） ・市町の庁内会議及び協議会の共有	桶川市地域活動福祉センター
研修会	R. 6. 1. 16	・研修会開催「医療的ケア児の地域支援について」	上尾かしの木特別支援学校
第 4 回	R. 6. 2. 8	・研修会の振り返り。 次年度に向けて。	桶川市地域活動福祉センター
活動報告まとめ			
<p>○今年度は、昨年度の活動を踏まえ医療的ケア児等が利用できる社会資源のガイドマップの作成を目標にスタートしたが、この地域の関係者に医療的ケア児等をより広く知ってもらうことを優先とし、知識や力量の向上をはかるためガイドマップの作成ではなく「研修会の開催」することとなる。</p> <p>医療的ケア児等支援センター「かけはし」「桶川市立保育所」「つくし学園」の方を講師に招き、研修会を開催した。</p> <p>○研修会には、計画・委託事業所、学校、行政等の 21 機関が参加した。</p> <p>○来年度は、児童発達支援事業所や、放課後デイ、学校等の見学（フィールドワーク）を取り入れながら、医療的ケア児等の社会資源について学び、地域で共有できる課題を明らかにしていく。</p>			